株式会社JSOL

導入事例

株式会社ツムラ様

医療用漢方製剤トップ企業が全社基幹システム刷新。SAPでDX推進と業務効率化を実現



医療用漢方製剤のリーディングカンパニーである株式会社ツムラは、取引量増加に伴うビジネスの拡大やDXによるビジネス変革の実現に向けてIT基盤強化が急務であり、全社基幹システムを刷新。JSOLと共同でSAP S/4HANAを中心とした統合ERPソリューションを導入し、業務標準化とDX推進を実現しました。

課題

- 経営効率向上のための業務標準化と業務改革の必要性
- 現行システムの老朽化による業務継続リスクと事業拡大に向けた基盤リスクの回避
- 漢方バリューチェーンのDX化推進による顧客価値向上の実現

ソリューション

- SAPのS/4HANAを中心とした統合ERPソリューションの導入
- JSOL医薬業界向けテンプレートの活用による標準化基盤の構築
- SAP関連製品の組み合わせによるデジタル化基盤の拡張

導入効果

- データの一元管理とリアルタイムデータ活用による意思決定の迅速化
- 業務プロセスの標準化による効率化と生産性向上
- 安定供給と製品価値向上、ローコストオペレーションに向けた基盤整備を実現

背景・課題

経営効率向上と事業拡大に向けた基幹システム刷新の必要性

株式会社ツムラは、2023年4月に創業130年を迎え、国内の医療用漢方製剤市場では8割を超えるシェアを有し、売上高1,500億円、従業員数4,000人以上の企業に成長を遂げています。「自然と健康を科学する」という経営理念のもと、2022年に長期経営ビジョン「TSUMURA VISION “Cho-WA”2031」を策定しました。

このビジョンでは2024年までの5つの戦略課題を掲げており、その中の一つが「漢方バリューチェーン改革に向けたIT基盤刷新と生薬選別、製造工程におけるAI・ロボット活用の推進」です。

株式会社ツムラ 情報技術部 部長の古澤氏は、「パーパスにつながるDXとして、誰一人取り残さない社会をつくるという決意と、究極的に成し遂げる事業の志を目指して推進をしています。医薬品製造企業としては、安定供給、製品価値の向上(均質性)、そして、ローコストオペレーションを一層追求する必要があります」と語ります。



株式会社ツムラ
情報技術部 部長
古澤 佳高 氏

ツムラは主に3つの大きな課題に直面していました。一つ目は、漢方市場の拡大および中国事業への投資による成長戦略実現に向けた、業務標準化・業務改革による経営効率向上です。二つ目は、現行システムの老朽化により、業務継続のリスクが高まっていたこと。システムの不安定さは日々の業務に支障をきたすだけでなく、将来の事業拡大にも影響を及ぼす可能性がありました。三つ目は、求められる漢方バリューチェーンのDX化の推進です。ERPに合わせた業務改善の実現と、部門間の意識統一、パートナー企業との連携体制確立が課題でした。

解決策・ソリューション

SAPソリューションの導入で DX基盤を構築

ツムラは課題解決に向けて、まずSAP S/4HANAを基盤とした統合基幹システムの導入を決定しました。SAP Concur、SAP Analytics Cloud、BW/4HANAなどSAPソリューションを組み合わせてデジタル化基盤の拡張を行い、シームレスな連携による情報の可視化の実現を行いました。

プロジェクト推進体制では、情報技術部企画開発課長を専任プロジェクトリーダーとして任命し、効果的なPMO体制を構築することで部門間調整を実現。パートナー企業との連絡会を通じた円滑な連携体制も確立しました。

業務改革は段階的に推進し、要件定義から本稼働まで19ヶ月の計画的な移行を実施。各フェーズでのゴールと達成基準を設定することで透明性を確保し、業務部門への3カ月先までの役割や工数計画を提示することで、計画的な推進を実現しました。また、経営陣からのメッセージを元に、プロジェクト内で継続的に啓蒙活動を行い、意識改革を促進しました。

さらに、追加開発発生を適切にコントロールするため、追加開発要件実施可否に対し審査基準を設定。ビジネス効果と開発コストを比較した判断基準をルール化したことで機能の追加開発を抑制し、ERPの標準機能を最大限活用する方針を徹底しました。

このように、システム刷新・体制構築・業務改革・開発管理の各側面から総合的なアプローチを取ることで、効果の高いシステム構築と、業務の標準化を両立することができました。

結果・導入効果

業務標準化、業務改革による プロセスのデジタル化、可視化を実現

ツムラはSAPソリューションを組み合わせたデジタル化基盤を構築、ロジスティクスデータと会計データがリアルタイムに統合されることで、データ確認作業などの工数削減を実現しています。また、導入から半年以上にわたり活用してきたことで、ログデータやトランザクションデータの蓄積が進んでおり、業務傾向の分析基盤が整ってきています。これにより、監査対応の効率化や、データに基づいた業務改善、運用改善実施などが、今後可能となります。業務標準化・業務改革による各種プロセスのデジタル化・可視化など、業務部門からも効果を感じる声があがっています。

プロジェクト運営において、業務部門の意識改革・理解促進が進み、PMOチームが部門間調整や課題解決を効果的に実施。パートナー企業との円滑な連携体制も構築されました。

プロジェクトは、システム刷新に留まらず、パーパスである「一人ひとりの、生きるに、活きる。」の実現に向けた業務変革の基盤構築としても成功を収めたといえるのです。

今後について AIの活用と更なる業務効率化で、漢方バリューチェーンのDXを促進

さらなる業務の効率化、標準化を進めていきます。特に注力する領域として、人手の介在が多いオペレーション領域の効率化があります。具体的には、決算業務の効率化においてBlackLineの活用を検討しています。これにより、決算担当者のタスク可視化と経理業務の効率化、連結原価の高度化も図っていきたいと考えています。
また、漢方バリューチェーンのDXを促進するうえで、生成AIの活用は欠かせない要素です。現在 Azure OpenAIの社内利用を進めており、長年培ってきた研究分析や製造工程で社内に蓄積されたデータを活用したいと考えています。

JSOLは、今後もツムラの更なる発展を支援していきます。

会社概要

所在地	:東京都港区赤坂2-17-11
設立	:1893年（明治26年）4月10日
資本金	:301億42百万円（2024年3月31日現在）
事業内容	:医薬品（漢方製剤、生薬製剤他）の製造販売
従業員数	:連結：4,138名（2024年3月31日現在）
売上高	:1,508億円
URL	:https://www.tsumura.co.jp/

自然と健康を科学する ツムラ

株式会社JSOL
〒102-0074　東京都千代田区九段南1-6-5　九段会館テラス
E-mail：rfi@jsol.co.jp　https://www.jsol.co.jp/

●記載されている製品、サービスの名称等は、それぞれ所有者の商標または登録商標です。

© 2025 JSOL CORPORATION